



いやす  
なおす  
たもつ



文書館資料にみる  
病気・医療・健康

15

福間隆廉自記写 全 19 冊（徳山毛利家文庫 福間隆廉自記）

身を保つ③

## 近世大名の病と健康

近世大名はどのような病気に罹り、どのような治療を受け、どのようにして健康を保とうとしたのか。このことを知る手掛かりとして、徳山毛利家文庫の「福間茂左衛門隆廉自記写」をひもといてみましょう。

「福間茂左衛門隆廉自記写」は、徳山藩士である福間茂左衛門隆廉（1631～1723）が、天和元年（1681）に「御用人」に命じられた翌年から、隠居する元禄 4 年（1691）の上半期までの公私にわたる日記です。徳山毛利家文庫に残るこの日記は、藩において写されたものです。現在は 19 冊の冊子として伝わっています。

福間隆廉が専ら仕えたのは、徳山藩 2 代藩主の毛利元賢（1670～1690）です。元賢は 10 歳で藩主となるものの、生来病弱であったためか、21 歳の若さで病没してしまいます。

元賢の側近くに仕えた福間隆廉は、元賢の日常を細かく日記に書きとめて

います。元賢の交友関係や、関心事、大名として深めるべき教養の修練など、近世大名の成長していく姿が生き生きとよみがえります。

そのため、体の弱かった元賢の病状も細かく記録されています。医師による診察結果は勿論、食事の種類や摂取量も記録されています。時には、排泄物の色や形状、分量にまで筆は及びます。また驚くべきことに、元賢の病気治療にあたった医師や隆廉は、施薬や、鍼灸などの施術のみならず、心のケアをも視野に入れて、藩主の健康管理に配慮していることが窺えるのです。

実際に、元賢はどのような病気に罹ったのでしょうか。

最も多かったのが「風気」と記録される病気です。風邪、もしくは風邪気味による体調不良といったところでしょうか。この「風気」にはよく悩まされ、数日で回復する時もあれば、しばらくは服薬・療養しなければならない時もありました。



徳山毛利家文庫 譜録 1018  
（福間源左衛門）

「福間茂左衛門隆廉自記」を記した、福間隆廉の譜録。隆廉は、徳山藩「御家老」の家柄である福間元道の 5 男でしたが、新たに取り立てられ、家を興しました。

以後、代々「御馬廻」の格式で、禄高 100 石を与えられました。

また「御腹」の具合も芳しくない時がありました。お腹に張りがあるとのこと。風邪が原因の場合が多かったようです。

時には「腫物」もありました。「御右御耳之下御はれ物」など、部位までしっかり記録されています。

「御口中御歯くき之上ニ御歯出可申哉、御痛候」という記事も見えます。これは元賢数え 13 歳の時のこと。「親知らず」が生えてきたのかもしれませんが。

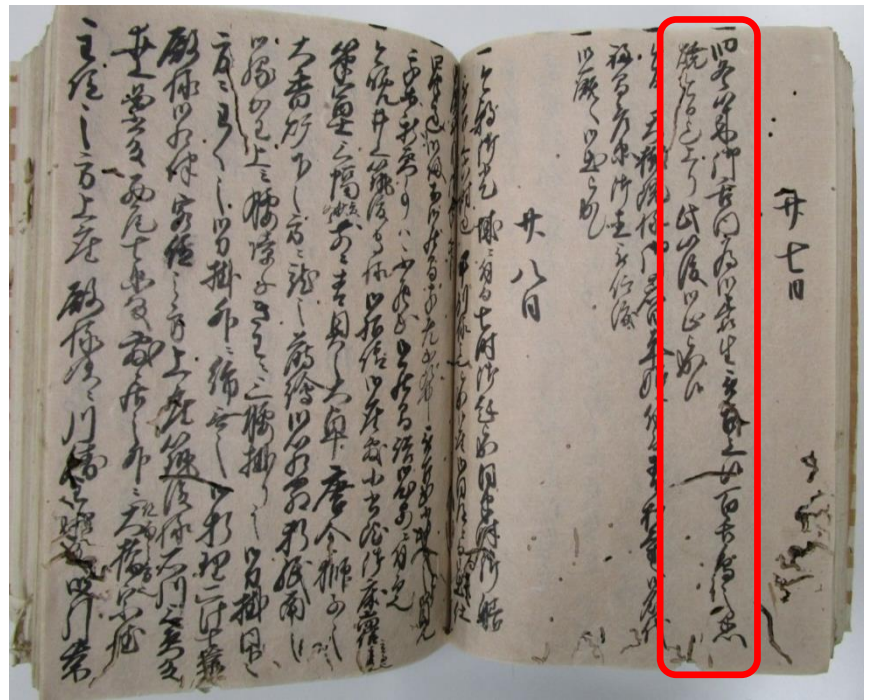
体力の回復と健康維持には、針や灸は勿論、食事にも気を配っています。

滋養強壮には「人参」（おそらく高麗人参）が定番でした。これらが食材として、あるいは薬の原料のひとつとして供された記事も見受けられます。

また一風変わったものとして、例えば右の写真。これは百舌を黒焼きにして食べていたことが窺えます。この他にも国元から「牛肉」が送られたりもしています。

元賢はまじめな性格の持ち主で、何事にも手を抜かず向き合ってしまうがち。それが病気の一因になっているのでは？ 隆廉たちはそう考え、元賢にストレスをかけないように配慮しています。例えば、病み上がり後の読書は取りやめています。根を詰めての勉学は、元賢の負担になるとみたようです。

「福間茂左衛門隆廉自記写」は、藩主の日常が窺える貴重な記録と言えます。



福間隆廉自記 巻 8  
貞享 2 年（1685）正月 27 日条

枠で囲った部分は、昨年の冬以来、「舌内」の治療のために食していた百舌の黒焼きを今日まで召し上がることにし、明日からは止める、とあります。

「舌内」とはどのような病気なのか具体像は明らかではありませんが、その治療薬として百舌の黒焼きが有益だったのでしょう。1ヶ月あまりにわたって、おそらく毎日、毛利元賢はこれを食べていたわけです。はたしてその「お味」はいかに…。

一、旧冬以来御舌内為御養生被召上候百舌鳥之黒焼、今日迄上り、此以後御止被成候、

「福間茂左衛門隆廉自記写」採録状況（丸数字が巻数／「閏」は閏月分の記事があることを示す）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
天和 2	①	①	①		①	①		②	②	②	②	②
天和 3	③	③		③	③/閏		④	④	④	④		
貞享 1	⑤	⑤	⑤		⑥	⑥	⑥	⑥	⑦	⑦	⑦	⑦
貞享 2	⑧		⑧	⑧	⑧	⑨	⑨	⑨	⑨	⑩	⑩	⑩
貞享 3	⑪	⑪	⑪/閏	⑪		⑪	⑫	⑫	⑫	⑫		⑫
貞享 4	⑬	⑬	⑬	⑬		⑭	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮
元禄 1		⑯			⑯	⑯	⑯	⑯	⑯			⑯
元禄 2	⑰/閏	⑰		⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰
元禄 3	⑱	⑱	⑱	⑱	⑱							⑲
元禄 4	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲					